

第3回日本気象予報士会研究成果発表会 目次

1. 01 統解-9「東京の無降水継続日数の順位分布と特徴」 関 隆則 (千葉県)
2. 01 統解-10「東京における1月の気温と降水量」 根本由紀子 (千葉県)
3. 01 統解-11「5年移動データから見た台風の経年活動と気候変動」 藤井 聡 (静岡県)
4. 01 統解-12「桜の開花に対する冬季の気温の影響について」 関 典央 (神奈川県)
5. 01 事例-6「2010年7月12日の愛媛県地方の大雨について ～松山における大雨の成因と降水域の移動に関する考察を中心に～」 一 広志 (愛媛県)
6. 01 事例-7「京都府宇治市の突風(ダウンバースト)」 実本正樹 (京都府)
7. 01 事例-8「現地観測によるフェーンの検証」 関谷不二夫 (三重県)
8. 01 実験-3「重さの微小変動と気象条件の関係」 梶原和利 (神奈川県)
9. 02 WB-4「確率予測資料を利用した意思決定のモデルについて ー確率予報を利用した意思決定に関する研究(第3報)ー」 平松章男 (石川県)
10. 03 事例-1「台風0806号 ー船舶遭難との因果関係についての考察ー」 土井修二 (京都府)
11. 04 授業-5「出前授業を活用した気象教育の充実」 荒川 知子 (神奈川県)
12. 06 運用-2「新聞記事から読む“気象と私たちの暮らし”に関する研究テーマの創出 ー気象予報士として相応しい研究テーマの探求ー」 小林勝広 (東京都)
13. 07 事例-1「信州の天気のことわざ検証 三登山の逆さ霧について」 宮澤佳幸 (長野県)